学校番号	３０２０

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「新・高校生の美術１」　（日本文教出版株式会社）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

正解が一つではない世界なので、一人ひとりの感じ方や見方が違うことを知り、多種多様な芸術分野を理解してください。
また、他の人の作品にも興味を持ち、自分の作品も自信を持って熱心に取り組んで完成させてください。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深め、意図に応じて表現方法を創意工夫するとともに、創造的に表すことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】
造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想するとともに構想を練ったり、美術的価値に対する意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】
主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していくことのできる態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ○多様な表現方法を知り、それらを活用して主体的に創造活動に取り組もうとしている。	○造形的なよさや美しさ、感じ取ったことや、考えたこと、目的や機能から主題を構成し、創造的な表現の構想を練っている。 ○価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方が深められている。	○自分のアイデアにより主体的に制作し、完成に向かって努力をしていく態度がある。 ○その中で他の人の作品にも目を注ぎ、時にはその技術等を生かしていく態度が見受けられる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	鑑賞(絵画)	○オリエンテーション ○教科書作品の鑑賞 ○ピカソのクロッキー模写 ○靴の鉛筆デザイン	a:美術作品のよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化についての理解を深めている。 a:鉛筆の濃淡の使い分けや、練り消しの使用で完成度が高められている。 b:新しいデッサンの方法を学び、表現しようとしている。 c:対象を深く見つめ、形態の特徴をつかみ、構成に工夫がみられる。	発表	作品	作品 観察
	デザイン	○色彩の基礎 ・3 原色の理解 ・3 原色で多くの色を作る ・フロッタージュ技法を学ぶ	a:3原色で黒が作られることを理解し、複雑な色もこの組み合わせでできていることが理解できている。 b:自由に色が作られるようになっている。１００色を目標とする。 c:色彩の色と形を考えて、主体的に構想を練り表現しようとしている。	作品 道具の使用状態	作品	作品 観察
2	彫刻	○オリジナルハンコの作成	a:芸術作品が生活や社会を心豊かにするｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾂｰﾙとして用いられていることを理解している。 a:材料や道具の特性をよく理解し、それを生かしたﾃﾞｻﾞｲﾝを工夫している。また、その完成度も高い。 b:ﾊﾝｺの特性（凸版）を理解し、個性的で実用性のあるﾃﾞｻﾞｲﾝが追求されている。 c:他人の作品のよいところを見つけ、感動し共感する姿勢が見られる。	作品 制作態度	作品 制作態度	作品 鑑賞態度

	版画	○日本の美の発見・木版画 ・作品の鑑賞 ・版画の下絵の完成(絵師) ・彫る(彫師) ・試し摺り(摺師) ・多色摺り	a:日本の伝統的な美術表現の特質に関心を持ち、ｱｼﾞｱをはじめとした諸外国の美術文化について理解しようとしている。 b:色刷りに必要な見当を理解し、丁寧に彫り進めることができる。 c:絵師・彫師・摺師それぞれを主体的に体験する態度がある。	観察 作品 制作態度	観察 作品 制作態度	観察 作品 制作態度
	デザイン	○立体カード ・試作品の実験 ・ﾚﾀﾘﾝｸﾞや表紙の仕上げ ・色や語りの検討	a:ﾊﾆｶﾑｼｰﾄの特性を理解し、ｶｰﾄﾞに適した作品になるように追求している。 b:ﾚﾀﾘﾝｸﾞを理解し、丁寧にｶｰﾄﾞに適したﾃﾞｻﾞｲﾝが構成されている。 c:人間関係を豊かにし、ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝを高める可能性のあるｶｰﾄﾞを理解し、関心を持って製作がされている。	観察 作品	観察 作品	作品 制作態度
	粘土	○抽象形態としての立体制作 ・自由に美しい形を追求し、制作する	a:立体的にどこから見ても美しいﾌｫﾙﾑであるなど、細部まで丁寧に仕上げている。 b:ハサミで切れる粘土の適性を生かし、形態を工夫して構想を練っている。 c:他人の作品のよさや、表現の工夫を感じ取り、作品についての理解を深め、秀作に感動し素直にほめたたえる態度がある。	観察 作品	観察 作品	観察 作品 制作態度 鑑賞態度
3	デザイン・情報・現代美術	○コラージュ ・情報を整理して主題決定 ・主題に沿った情報収集 ・名前を探し切り取る ・切り取った材料を構成する	a:ｺﾗｰｼﾞｭの技法を生かした表現となっている。 a:文字の形態がそれぞれの意図によって使用されていることを理解し、作品のなかにそれが反映されている。 b:自己の内面を見つめ感じ取ったことから主題を生成し、構想を練っている。 c:主体的に主題や創造的表現の追求や工夫がみられる。	観察 作品	観察 作品	観察 作品 制作態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度